

## 「教員養成の目標及び計画」

本学園の設立趣旨は、仏教精神を基調とした学校教育を行うところにある。仏教精神を体した質の高い人材を育成し、社会に有用な人材を輩出することを目指している。

本学では、大乘仏教の「平等」「寛容」「利他」の精神、すなわちあらゆるいのちの個性を尊重し、自己中心的なところを離れ、世のため人のために尽くすことに喜びを感じずる人材の育成を目指しており、この精神を体した教員を多く輩出し、地域の学校教育に貢献することを願い教員養成に取り組んでいる。

### <幼児教育学科第一部>

幼児教育学科第一部は、建学の精神にのっとり、社会に貢献できる教員（保育者）の育成を目的とし、その達成のため、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成している。①人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身に付け、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。②保育者としての必要な専門的知識や技術を修得しており、次代を担う子どもたちの最善の利益を保障する視点でものごとを考えることができる。③保育の表現技術を身に付けており、子どもに必要な環境を提供し、遊びを展開することができる。④多様で急激に変化する社会状況の中で、保育に積極的に関わり、他者との協調・共同も含めて、問題を解決することができる。⑤子どもを取り巻く諸問題への関心及び保育者としての使命感・責任感をもち、学び続けることができる。⑥豊かな人間性をもち、いのちを尊重し、高い倫理観を育み、自己の能力を社会に還元する強い志をもち、社会人としての規範に従って行動できる。

その目的達成のため、次のように教育課程を編成している。

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	「基礎演習」では少人数クラスで、学生生活への導入を促すと共に、論理的な記述法や学生間のコミュニケーション力の育成を図る。また、「保育原理Ⅰ」「教育学概論」等による幼児教育の基礎理論・知識の習得を目指す。「基礎音楽」や「基礎美術」を通して幼児教育に必要な技能面の習得も開始する。さらに、後期に開始される「教育実習Ⅰ」のための「教育実習指導」を通して、保育・幼児教育への関心を高める。
	後期	「教育課程論」や「発達・学習心理学」等の履修を通して子ども理解や教職への理解を深めていく。また、「教育実習Ⅰ」で幼稚園実習を行い、教職を実践的に経験する。さらに、その経験を学内での学習につなげ、幼児教育の在り方を考える機会を持つ。
2年次	前期	「保育者論」や「教育相談」等の授業を通して教職に必要な技能を向上させる。同時に、本学の独自科目である「保育内容演習Ⅰ」を履修することにより、主体的に保育・幼児教育の今日的な課題に取り組む。また、「教育実習Ⅱ」で幼稚園実習を行い、幼稚園の役割、幼児教育の在り方を考えるとともに、保育者としての自己の課題を明確にする。

2年次	後期	<p>「教育方法論」等の履修を通して、これまでの学習のまとめを行う。また「保育・教育実践演習」の授業を通して保育者としての応用力や今後のキャリア形成に向けた実践的な取り組みを行う。</p> <p>本学の独自科目である「保育内容演習Ⅱ」で卒業研究を完成させ、発表することによって表現力や協働性を培う。</p>

### <幼児教育学科第三部>

幼児教育学科第三部は、建学の精神にのっとり、社会に貢献できる教員（保育者）の育成を目的とし、その達成のため、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成している。①人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身に付け、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。②保育者としての必要な専門的知識や技術を修得しており、次代を担う子どもたちの最善の利益を保障する視点でものごとを考えることができる。③保育の表現技術を身に付けており、子どもに必要な環境を提供し、遊びを展開することができる。④多様で急激に変化する社会状況の中で、保育に積極的に関わり、他者との協調・共同も含めて、問題を解決することができる。⑤子どもを取り巻く諸問題への関心及び保育者としての使命感・責任感をもち、学び続けることができる。⑥豊かな人間性をもち、いのちを尊重し、高い倫理観を育み、自己の能力を社会に還元する強い志をもち、社会人としての規範に従って行動できる。

その目的達成のため、3年間の勤労と学修との両立に配慮して、次のように教育課程を編成している。

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<p>「基礎演習」では少人数クラスで、学生生活への導入を促すと共に、論理的な記述法や学生間のコミュニケーション力の育成を図る。「保育原理Ⅰ」の履修を通して幼児教育の基礎理論の習得を目指す。また、「発達・学習心理学」等の履修を通して子ども理解に関心を持つ。</p>
	後期	<p>「教育実習指導」の履修を通して、次年度の幼稚園実習「教育実習Ⅰ」に向けた理解を深める。同時に、「基礎音楽Ⅰ」を履修し、教職に関する技能面の習得を開始する。</p>
2年次	前期	<p>「保育の心理学」「教育課程論」を履修し、子ども理解や教職への理解を深める。また「教育実習Ⅰ」で教職を実践的に経験する。さらに、その経験を学内での学習につなげ、幼児教育の在り方を考える機会を持つ。</p>
	後期	<p>「保育者論」「教育学概論」等の履修を通して保育者の役割等についての理解を深める。</p>

3年次	前期	「教育実習Ⅱ」で2回目の幼稚園実習を行い、幼稚園の役割、幼児教育の在り方を考える機会を持つと共に、保育者としての自己の課題を明確にする。また、本学独自科目である「保育内容演習」の授業を通して、主体的に保育・幼児教育の課題を考えると共に、各自の研究を完成させ、発表することによって表現力や協働性を養う。
	後期	「教育方法論」「教育相談」等の授業を通して、教職に必要な技能を向上させる。また「保育・教職実践演習」の履修を通して保育者としての応用力や今後のキャリア形成に向けた実践的な取り組みを行う。